

日本企業の技術で安全な水を住民の元へ！ カンボジア水道局職員らが大阪・京都で水処理設備や技術を視察

カンボジアでは安全な水へのアクセス改善を目指し、近年は都市部だけでなく地方都市でも上水道整備が推進されています。しかし、乾季・雨季が存在する同国では、浄水場の原水となる河川水の濁度（水の濁り度合い）が急激に変動するため、数多くの水道事業者が飲料水や生活用水として活用できる基準まで浄化できない事が課題となっています。

日立造船株式会社（大阪府大阪市）は、急激な濁度変動にも対応可能な繊維ろ材を用いた浄水システムをカンボジアで展開する事を目指しており、JICA は 2024 年 3 月から「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」として、現地での実証活動やビジネス展開の可能性調査を支援しています。

今般同調査の一環として、2024 年 9 月 8 日（日）から 9 月 13 日（金）まで、カンボジアより工業科学技術革新省およびプルサット州水道局の職員が来日し、日立造船の水処理技術に対する理解を深めるため、同社技術・開発センターや大阪市水道局等を視察します。

以下日程で視察等の取材や、カンボジア側・日立造船側関係者へのインタビューが可能ですので、ぜひご検討ください。

キーワード：水ビジネス海外展開、高速ろ過浄水システム、カンボジア、
ODA による日本企業の海外展開支援、JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業

●取材可能日① 9 月 10 日（火） 14:00～15:30

於：日立造船 Hitz 先端情報技術センター（大阪市住之江区南港北 1-7-89）

プログラム：ごみ焼却発電施設や水処理機器の遠隔監視技術の視察

●取材可能日② 9 月 11 日（水） 13:30～17:00

於：大阪市水道局 柴島浄水場（大阪市東淀川区柴島 1-3-14）

大阪市水道局 体験型研修センター（大阪市東淀川区柴島 3-11-94）

プログラム：浄水処理技術等に関する意見交換及び施設見学

●取材可能日③ 9 月 12 日（木） 13:00～15:00

於：日立造船 環境事業本部開発センター（けいはんな地区）（京都府木津川市相楽台 9-1）

プログラム：同センター概要説明と水処理技術の開発についての講義

●言語：日本語（日-クメール語通訳あり）

●取材申し込み期限：9 月 2 日（月）までに下記問い合わせ先にご連絡ください。

【参考情報】**JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは**

日本の政府開発援助(ODA)を通じて JICA が築いてきた開発途上国政府とのネットワークや信頼関係、ノウハウ等を活用し、開発途上国の開発課題に貢献する日本の民間企業等のビジネスづくりを支援する事業です。

[中小企業・SDGs ビジネス支援事業について](#) | [事業について - JICA](#)

日立造船株式会社について

上下水・汚泥再生処理プラント、海水淡水化プラント、ごみ焼却発電施設などを設計・施工管理しています。JICA「カンボジア国高濁度向けパッケージ型高速ろ過システムの普及に向けたビジネス化実証事業」を 2024 年 3 月から 2025 年 6 月まで実施中です。

2024 年 10 月 1 日から「カナデビア株式会社(英文: Kanadevia Corporation)」に変更されます。

日立造船ホームページ: <https://www.hitachizosen.co.jp/>

本件に関する問い合わせ先
独立行政法人国際協力機構 関西センター (JICA 関西) 企業連携課 (担当: 森下) TEL : 078-261-0397 E-mail : Morishita.Yuko@jica.go.jp